

学年	高1	教科	理科	科目	物理基礎	単位 (週時数)	2	
<b>【年間の目標】</b> ①自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考える。 ②観察、実験などを行い、結果を比較・考察し科学的に探究する力を養う。 ③物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。								
<b>【評価方法】</b> 考査7割、実験プリント等の提出物3割（実験の実施状況等によって変動する可能性あり）								
<b>【使用教材】</b> 物理基礎（啓林館）、ベストフィット 物理基礎 新課程（実教出版）								

1学期中間考査まで	
<b>【単元】</b> 第1部第1章「物体の運動」	
<b>【目標】</b> 速度や変位などの基本的な物理量を理解し、数式やベクトルを用いてそれらを表現する。 観察や実験の結果から物体の運動を考察する。	
<b>【実験・実習】</b> 記録タイマーの使い方（斜面を下る運動）	
<b>【その他】</b> 初回授業で有効数字について扱う。これは1年間かけて身に付けてほしい内容のため、年間を通して意識すること。また、ベクトルの計算など、数学で未履修の内容については授業内で適宜解説する。	

1学期期末考査まで	
<b>【単元】</b> 第1部第2章「力と運動」	
<b>【目標】</b> 観察、実験を通して探究し、物体の力と運動の関係を見いだして表現する。	
<b>【実験・実習】</b> フックの法則、力のつり合い、作用・反作用の法則を確かめる実験	

2学期中間考査まで	
<b>【単元】</b> 第1部第3章「仕事とエネルギー」	
<b>【目標】</b> 仕事やエネルギーの概念を理解し、観察・実験を通して規則性を見いだして表現する。	
<b>【実験・実習】</b> 浮力の測定、仕事の原理（演示）、力学的エネルギー保存則	

2学期期末考査まで	
<b>【単元】</b> 第2部「熱」	
<b>【目標】</b> 熱や温度、比熱などの意味を理解し、観察や実験を通して表現するとともに、身近な現象と関連付けて考察する。	
<b>【実験・実習】</b> 金属の比熱の測定	

3学期期末考査まで	
<b>【単元】</b> 第3部第1章「波」～第2章「音」	
<b>【目標】</b> 波動現象の表し方を理解し、観察、実験などを通して探究し、共通する基本的な概念や法則を理解する。	
<b>【実験・実習】</b> ウェーブマシン（演示）、オシロスコープ（演示）、うなりの観察、気柱の共鳴	